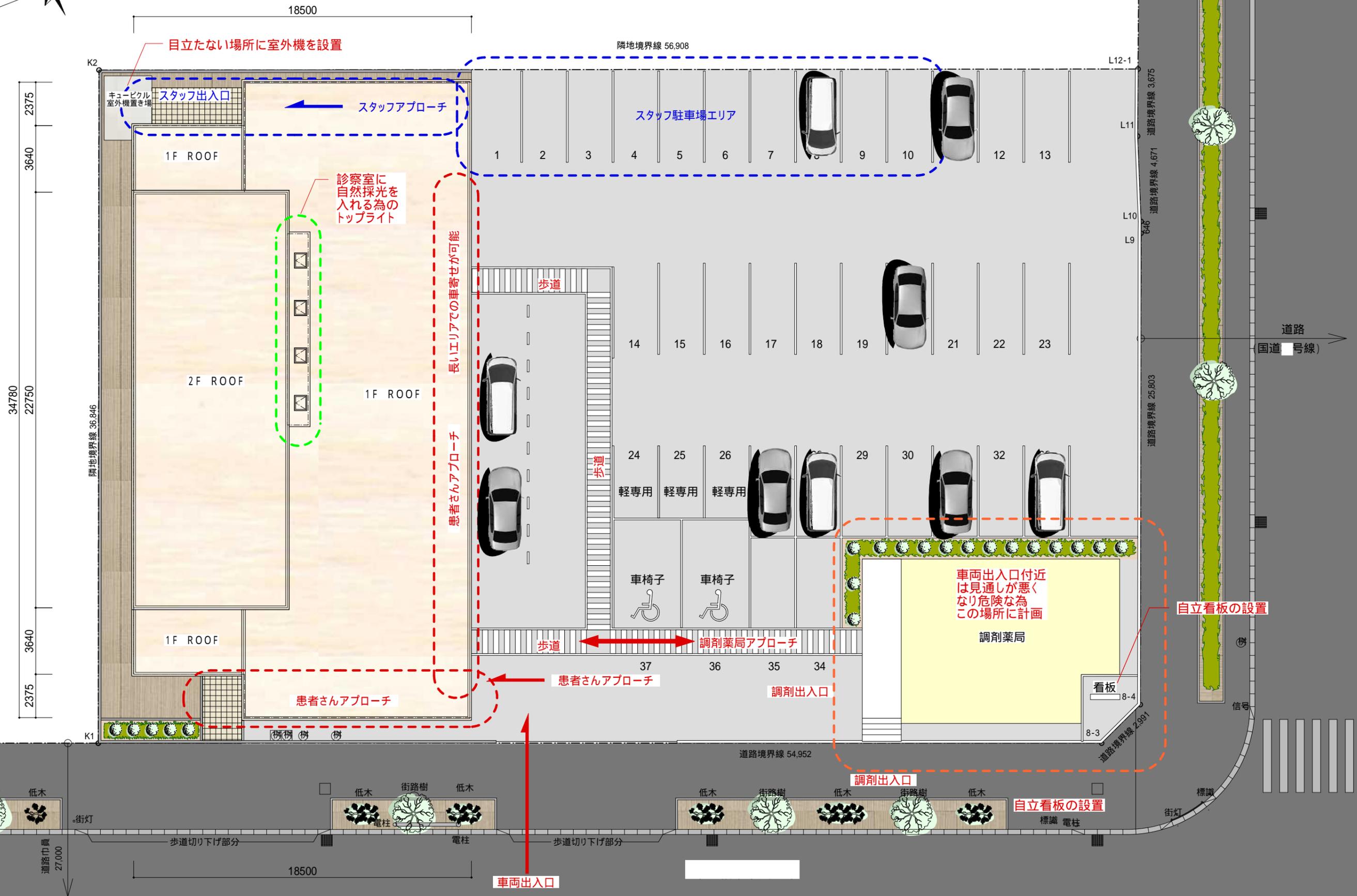
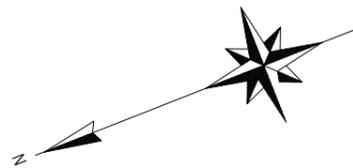




# クリニック移転 計画案



# 配置計画図



# ～ 癒しの森と集いのクリニック ～

( クリニック移転P ) 設計コンセプト

## 基本方針

地方都市における家庭医療診療所モデルの構築  
安心と交流の健康拠点！！

| 計画地   | 主要用途                   | クリニック                |
|-------|------------------------|----------------------|
| 用途地域  | 近隣商業地域                 | 木造 2階建て              |
| 許容建蔽率 | 80%                    | 建蔽率 28.96%           |
| 許容容積率 | 300% MAX               | 容積率 34.02%           |
| 前面道路  | 北側 国道 号線 西側            | 建築面積 608.41㎡ 184.04坪 |
| 敷地面積  | 2,101.17㎡ 635.60坪      |                      |
| その他   | 1階延床面積 518.02㎡ 156.70坪 |                      |
|       | 2階延床面積 196.67㎡ 59.49坪  |                      |
|       | 延床面積 714.69㎡ 216.19坪   |                      |

## プロジェクトにおける設計コンセプト

昨今、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受け生活様式が変化しつつあり、その中で医療機関への受診のあり方も変化していると考えます。  
受診においては患者さんの多くはコロナウイルスに対する不安で通院する事もままならない事も想定されますし、また高齢者の方であればインターネット等からの情報を得る事も難しく情報交換のできる交流の場も求められると思います。  
医療従事者の方々には感染リスクに伴う不安を抱える事もあるでしょう。  
それに加え地球温暖化対策推進法に基づき、ここ数年CO2削減に伴う建物の省エネルギー化が重要視されています。  
こうした中我々は、プロジェクトの基本方針となる家庭医療診療所の充実化と地域に愛され有熱時でも安心でき居心地の良いクリニック、そして高効率で省エネルギーに配慮した「癒しの森と集いのクリニック」を提案いたします。

### コンセプトの構築

一般的な診療所の  
マイナス6大イメージ

- 不安
- 痛い
- 暗い
- 怖い
- 臭い
- 無機質

癒しの森と集いのクリニック  
プラスなイメージへ

- 安心、落ち着く
- 痛くない
- 明るい
- 楽しい
- 良い香り
- 有機質

クリニック内の交流に必要な要素

- 広い待合室
- 落ち着いた空間
- 内外装の計画

交流の為の仕掛け

集える場所の提供

外 壁:正面部分はナチュラルで柔らかいイメージを出す為木製の羽目板を採用し、その他の部分はコストと耐久性を考慮して厚いサイディング下地に塗装を施します。  
断 熱:我々の設計では高气密工法を採用致します。これは内部の熱を逃がさず外気の無駄な流入を防ぐ事で効率的に機械換気性能を高め、省エネルギー効果を発揮します。  
屋 根:屋根はシート防水フラット工法を採用致します。これは、通常木造建築の鋼板屋根と違い落ち葉等でルーフトレングが詰まる漏水のトラブルが少なく、雪が風で飛ばすので雪庇ができればいい工法を採用致します。  
外部建具:高断熱なLOW-Eガラス(特殊なフィルム貼りが施してあるガラス)を採用致します。これにより室内環境の省エネルギー化を図ります。  
床 :床下は配管電線の線が多数走る為、総ピットとし将来のメンテナンスに配慮した設計と致します。  
壁天井 :防火性能に配慮して下地には全て不燃材料であるプラスターボード厚み12.5mmを施工致します。  
遮 音:診察・室処置室・WC・医局・応接室等には遮音性能高めた施工を施し、外部に音が漏れないよう致します。

### セキュリティと防災設備

玄関、職員玄関、カウンター:メイン玄関は自動ドアでフリーですが有熱患者玄関はオートロックで管理し、職員玄関はホテルロックで管理、受付カウンターはシャッターでセキュリティ管理します。  
防災設備は消防署と打合せを行い効率的で適切な防災設備を設置致します。

### エコ計画

CO2削減可能なエネルギーのロスが少ない設計を目指し高断熱・高气密・効果的な換気・LED照明採用による小電力化、人感センサーや自動水栓の採用、効率的な冷暖房方式と給湯方式を検討しより環境に配慮した設計を致します。  
また建物の外壁ラインに凹凸をつけず、なるべく矩形で単純にする事がロスの少なく省エネルギー化を図れる事から建物を矩形にまとめ、またローコスト化を図る為なるべくコンパクトな計画としています。

### 冷房暖房計画

高効率なヒートポンプ型EHPによる冷暖房方式の採用を検討していますが地域のインフラ整備状況と地域性を考慮し、今後打ち合わせを重ねランニングコストとイニシャルコストの比較をしながらより効率的な方法を検討して行きます。

### 動線計画

メイン玄関と有熱患者さんとの出入口エリアを分離し、患者さん動線と有熱患者さん動線とスタッフ動線を分離する計画としています。今後打ち合わせを重ねより効率的な動線の改善に努めます。

### 換気計画

有熱患者さんのゾーンと他のゾーンとの換気を分離し空気の混流を防ぐ対策を致します。又有熱患者さんゾーンの排気は建物上部に立上げを検討しています。

### 設計コンセプト

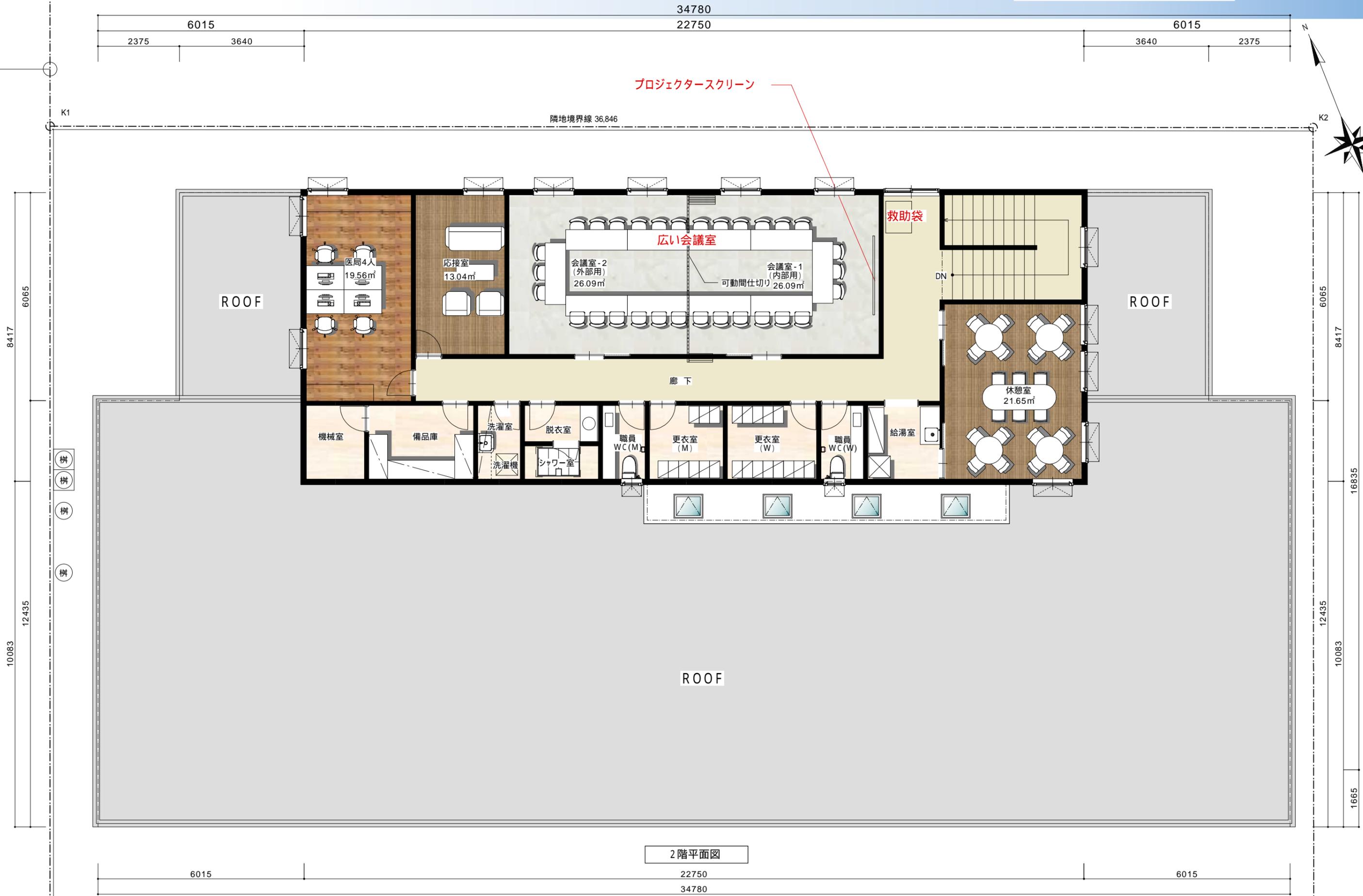
安心感を与える要素の1つには緑視率30%(植物等の緑が視界に入る割合)がある事から外観内観共に緑の割合を増やし、患者さんが受診しやすい建物としています。  
内部空間は木の木漏れ日を感じさせる大きな窓ガラスと高い天井で明るさと開放感を演出し、落ち着いた色合いの吸臭性のある有機的な木質材を使う事で、心地よく安心した落ち着く空間と致します。  
本棚コーナーやプロジェクターも用いイベント等を開催出来る楽しさを体感できる待合室となっています。  
感染症対策としては、感染経路である「接触」「飛沫」「空気」の3種類に対して感染症の拡大を未然に防ぐ対策を考えていきます。

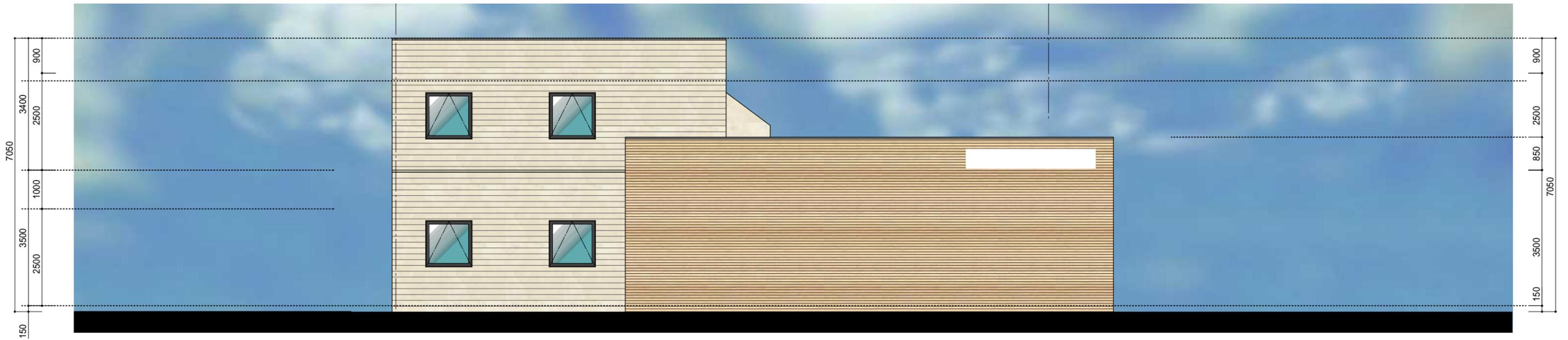
省エネルギーと感染症対策に  
配慮した設計

癒  
し  
の  
森

# 1階平面計画図 建物を矩形にまとめローコストと省エネルギー化に配慮



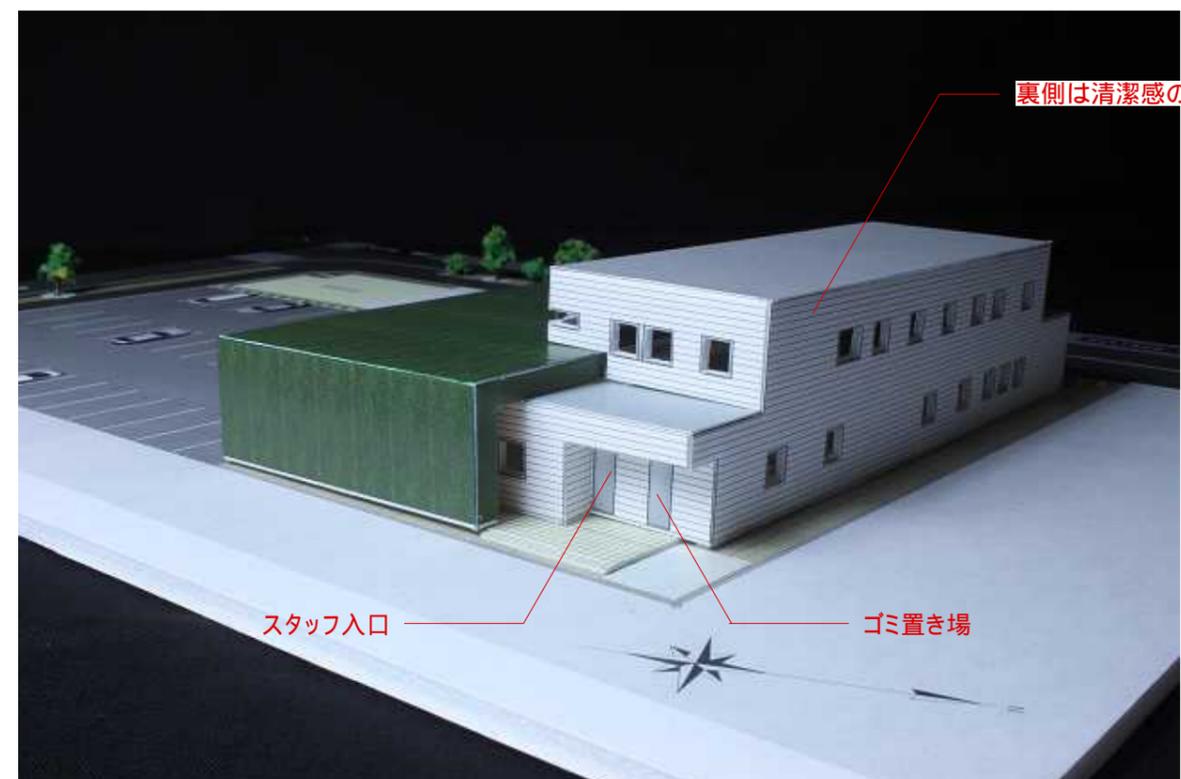
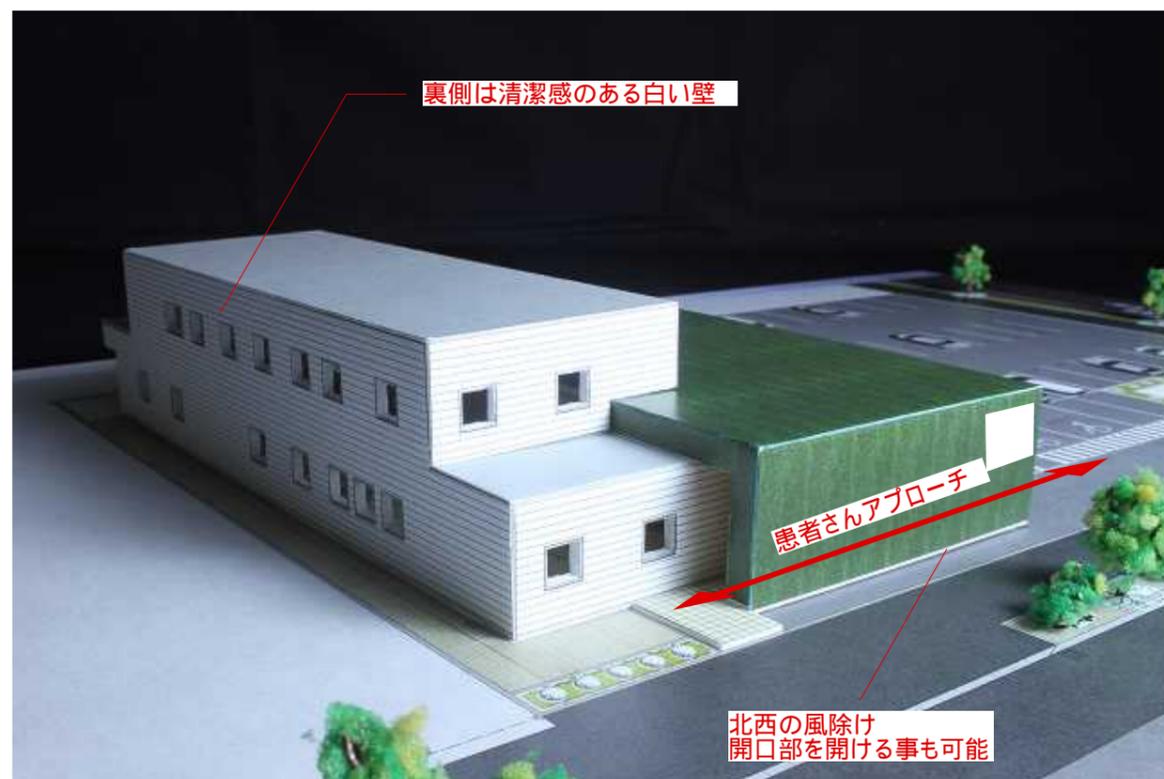




西側立面図



南側立面図



イメージ模型



待合室内観イメージパース-1



待合室内観イメージパース-2